

明治の文化

今日の問い

明治時代、日本の文学・美術・科学はどのように発展したのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 明治の文学・美術はどのように発展したか。

言文一致・日本画の見直し

文学では、話し言葉に近い ¹ 言文一致 の文体が広まり、² 夏目漱石 や森鷗外が近代的な小説を発表した。美術では、³ 岡倉天心 がアメリカ人の⁴ フェノロサ とともに日本の伝統美術の価値を見直した。⁵ 黒田清輝 は西洋画を広めた。音楽では ⁶ 滝廉太郎 が「荒城の月」などを作曲した。

2 科学と教育はどのように発展したか。

細菌の研究・就学率の向上

細菌学者の ⁷ 北里柴三郎 は破傷風の血清療法を開発し、⁸ ペスト菌 も発見した。⁹ 志賀潔 は赤痢菌を発見し、¹⁰ 野口英世 は黄熱病の研究を進めた。小学校の授業料が無料になると ¹¹ 就学率 は大きく上がり、1907年には¹² 義務教育 が6年に延びた。

年表 — この単元のできごと

1900

小学校の授業料が原則無料になる

1901

滝廉太郎の「荒城の月」が発表される

1907

義務教育が6年になる

まとめ

今日の問いに答えよう。「言文一致」「北里柴三郎」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)文学では言文一致の文体が広まり、夏目漱石や森鷗外が近代的な小説を発表した。科学では北里柴三郎が破傷風の血清療法を開発するなど、世界的な研究の成果があがった。

